

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和2年度 管内港湾施設浸水検討業務
業 務 概 要	本業務は、中部管内の港湾を対象に高潮時における浸水シミュレーションを実施し、コンテナターミナル等施設の浸水状況について検討を行うものである。
契約担当官の氏名並びにその所属する部署の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 名古屋港湾空港技術調査事務所長 神谷 一弘 名古屋市南区東又兵ヱ町1丁目57-3
契 約 年 月 日	令和2年9月30日
契 約 業 者 名	令和2年度 管内港湾施設浸水検討業務 沿岸技術研究センター・エコー・日本港湾コンサルタント設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都港区西新橋1-14-2
契 約 金 額 ( 税 込 み )	¥28,820,000
予 定 価 格 ( 税 込 み )	¥28,923,312
随意契約によることとした理由	<p>本業務は、中部管内の港湾を対象に高潮時における浸水シミュレーションを実施し、コンテナターミナル等施設の浸水状況について検討を行うものである。</p> <p>本業務の手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者で資格を満たした者から技術提案書を求め、「配置予定技術者の経験及び能力」「業務の実施方針・実施フロー・工程表・その他」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と配置予定技術者へのヒアリングにより評価を行なった。</p> <p>審査の結果、令和2年度 管内港湾施設浸水検討業務 沿岸技術研究センター・エコー・日本港湾コンサルタント設計共同体 を契約の相手方として特定した。</p> <p>よって、会計法第29条の3第4項並びに予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、令和2年度 管内港湾施設浸水検討業務 沿岸技術研究センター・エコー・日本港湾コンサルタント設計共同体 と随意契約するものである。</p>
業 務 場 所	—
業 務 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 ( 自 )	令和2年9月30日
履 行 期 間 ( 至 )	令和3年3月26日
備 考	

